

食物アレルギーについて

食物アレルギーでは、一定の食物を食べたとき、早くて20分以内、また遅発性として48時間程経過した後でアレルギー反応が起こり、「腹痛、下痢、発疹、鼻水、鼻づまり、目が赤くなる、湿疹が悪化する」などの症状が出ます。この反応が重症で生命にかかわるようなものを、「アナフィラキシー反応」といいます。アナフィラキシー反応は比較的早く出ます。48時間くらい経過して出るのはほとんどありません。

食物アレルギーのうち、牛乳、卵、小麦は、3歳までに約50%、6歳までに約80~90%のお子さんが食べられるようになります。ピーナツ、その他のナッツ類、ゴマは、大きくなるまでアレルギーが続くことが多く、ピーナツ、その他のナッツ類、そば、甲殻類は、重篤になりやすいと言われています。

また、アレルギーを起こす食べ物以外にも、今まで食べていても平気だった食べ物を食べたときにアレルギー症状を起こすことがあります。これはその食べ物に含まれているアレルギーを起こす物質がたまたま多く含まれていたため起こったものであり、これを「仮性アレルゲン」といいます。

少し前までは、食物アレルギーにならないように、離乳食開始を遅らせたり、お母様が妊娠中や授乳中に食事制限をしたりしていましたが、現在では食物アレルギーは防ぐことができないことがわかってきました。お母様はバランスの良い食事を心掛けてください。離乳食も5-6か月に開始し、特定の食べ物を制限しなくても大丈夫です。

最後に、アレルギーの検査は数種類ありますが、安全に当院で出来る検査は血液検査になります。ただこの検査だけでアレルギーの程度を正確に知ることは出来ません。特に小さいお子さん(特に2歳以下)では検査値は低くてもアレルギーの症状が強いこともあります。アレルギー食物の除去の仕方、どのくらい食べていいかはお子さんの年齢、症状、検査値によってそれぞれとなっています。

また、他にも気になることがありましたら当院小児科へご相談下さい。



小児科 真野 智子

日本歯科大学との連携について

平成26年4月から当院では言語聴覚士(ST)を採用しました。言語聴覚士とは、ことばの障害、聞こえの障害、声や発音の障害、飲みこみの障害(嚥下障害)がある患者様に対して、検査・指導・訓練を実施する専門職です。言語聴覚士は、特にこの10年間で飲みこみの障害(嚥下障害)に対するリハビリ専門職として、とても重要視されています。

安全に口から食べるうえで歯は非常に重要です。しかし当院には歯科がありません。そこで現在、日本歯科大学の歯科医師に月に2度当院に来て頂き、入院患者様の口の中の状態や嚥下機能の評価をして頂いています。その中で歯や入れ歯の治療が必要な患者様がいらっしゃれば、同じく連携をとっている川口歯科医師会の歯科医師に依頼をして病院内での訪問歯科治療を行っています。

飲みこみの力の低下は低栄養に繋がり、肺炎発症の増加を招きます。地域医療の中核を担う当院としましては、この嚥下障害を抱えた患者様を治療して退院後の生活をより良くしていくことを責務として考えています。

そこで日本歯科大学 菊谷武教授や歯科の先生方の指導の下、「地域包括ケアにおける摂食嚥下機能、栄養状態に及ぼす因子の検討に関する調査研究」に協力して、どのようにすれば病院と地域とが情報交換や連携を適切にとれるかの追跡調査を行っています。

このような取り組みにより、患者様が自宅や施設でも安心して食事を楽しめる社会を作っていけると考えています。

リハビリテーション科 瀬木谷

施設との連携

現在、日本国民の約4人に1人が65歳以上といわれ、今後さらに進んでいく高齢化社会に向けて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で人生を最後まで送れるように地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の整備が求められています。当院としましてもこの地域包括ケアシステムを推進するにあたり、さまざまな地域活動を行っています。

2016年2月にはデイサービスセンター ケアパートナー川口のスタッフさん向けに当院の言語聴覚士による嚥下(飲み込み)についての勉強会(2回目)を行いました。介護現場で食事介助時に実際困っているケースについて実演を交えて専門職からアドバイスをさせていただきました。専門職の知識や技術を地域の高齢者に関わるスタッフと共有することで、高齢者が安心して生活できる地域になればと考えています。

また勉強会を終えて、ケアパートナー川口さんからのコメントを頂きましたので掲載させていただきます。

「センターで抱えている食事介助時の悩み、また、噛み方や飲み方の観察方法、食形態、スプーンの大きさ等々解決するための知識やアドバイスを頂くことができました。聞くだけの講義ではなく施設の備品を使い、食べる・飲むという行為を自身で体験しながら嚥下の仕組みを理解する。また実際、むせ込みのある利用者様について解決に向けた意見を交わすことができスタッフの知識と技術の向上に繋がるとても有意義な時間となりました。

病院と介護サービス事業者がお互いの顔を知り、仕事を知ることと地域の皆様が困ったときにどこに相談しても各職種が連携して必要なお手伝い出来るよう、これからも地域・医療・介護の“輪”を作る活動をしていきたいと思っています。」



第11回 東川口病院公開講座

2016年2月6日(土)に戸塚公民館にて、『第11回 東川口病院公開講座』を開催しました。

今回は『糖尿病』をテーマに当院の内科医師の成田、管理栄養士の田中からお話させていただきました。受付時間前から列を作るほど多くの方々に参加して頂き、前回の参加人数より100名増えて275名の方に参加頂きました。

また、講演開始前の骨密度測定、足測定、無料相談会にも185名の方に参加して頂き、地域の皆様の健康に対する意識の高さを改めて感じました。これからも継続して続けていくことで地域の皆様の為に少しでもお役に立てればと思っています。

次回は2016年5月14日(土)14:30から戸塚公民館にて、川口市保健センター様、川口市地域連携看護師会様をお招きし、当院と共同での『第3回ふれあい健康フォーラム』を予定しております。詳細が決まり院内掲示板や新聞折り込み等でご案内致します。参加費無料・申込不要ですのでお気軽にご参加ください。



AMG学会発表を終えて

AMG(上尾中央医科グループ)では年に一度、AMG学会を開催しています。

この学会は、看護・リハビリ・放射線・検査など、多職種による合同学会で、各施設における日頃の研究・検証結果の発表の場として行われており、それぞれの施設が、それぞれの地域でどのような医療・介護を目指しているのか、またそのために何を求め、何が求められているのかを知ることができる貴重な機会でもあります。

今回、私は東川口病院放射線科の代表として一つの演題を発表させて頂きました。みなさんは、怪我をしてレントゲンを撮影するとき、難しい体勢によって辛い思いをしたことはありませんか?もちろん、患者様が不利益を被ることがないように、少しでも診断価値の高い画像を撮影するため行っていることなのですが、苦痛は少ない方がいいですね?

そこで、アントンセンI法という踵(かかと)の撮影法について、現在よりも楽な姿勢で、かつ診断価値はより高い画像を目指す研究、発表を行いました。

発表後は私が行った発表内容について、他施設の診療放射線技師さんと、どのような工夫がされているかなど、情報交換をすることもできました。学会に参加・発表できたことは私にとって非常に実りのある経験であったと感じます。

今後もこのような学会を通して、明日の医療の質の向上と地域医療への貢献に繋がっていくことができるよう、邁進していきたいと思っております。



放射線科 後藤

総務課紹介

総務課には現在7名の職員が在籍し、400名近いスタッフの労務管理、福利厚生その他に設備管理、診療材料や備品の購入管理、施設基準の許認可申請及び管理などを担当しています。

総務課はかなり幅広い業務を行いますが、病院を維持するための土台をさらに強固なものにし守っていく、とても重要な仕事だと思っています。患者様と直接かわることの少ない部署ですが“縁の下の力持ち”として病院や職員を守る重要な役割を担っています。

総務課は、医師・コメディカル・事務系など、すべての部署と関わりをもつ部署ですので今後も連携をより一層密にし、当院の病院理念に基づき、より良い病院づくりを目指していきたいと思っています。また、高齢者の多いこの地域で、患者様のニーズに応えるべく、サービスの向上に努め“愛し愛される病院”のイメージ作りをしていきたいと考えております。



東川口病院 外来診療について

【受付時間】 午前(8:00~12:30) 午後(13:00~17:15) 平成28年04月01日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
神経内科	午前				○		
肥満外来(予約制)	14:00~17:15					○	
循環器科	午前	○	(予約制)○	11:30受付終了○	○		
	午後		(予約制)○		○	14:30から診察○	
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
骨粗鬆症外来(予約制)	15:00~16:30					○	
外科 消化器外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後		○	○		○	
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○	
	午後			○			
皮膚科	午前		○		○		
	午後	○		○	○	○	
泌尿器科	午前				○		
	午後				○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○			○		
	予防接種(予約制)		14:00~15:00 予防接種	14:00~17:15 予防接種		14:00~15:00 予防接種	
耳鼻咽喉科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	

☆救急対応、緊急手術等でやむを得ず診察時間が変更となる場合がございます。

☆お電話での診察予約、お薬のご依頼はお受けしておりません。

☆各診療科の担当医師については病院ホームページを閲覧していただくか、総合案内までお尋ねください。

☆その他ご不明な点等につきましては総合案内までお問い合わせください。

地域活動委員会から一言

季節の変わり目という事で、体調を崩しやすく、花粉症で悩ませる時期となりました。今回は、笑顔がもたらす健康効果についてお話ししたいと思います。笑うことによって、体内の免疫細胞が活性化します。免疫細胞(ナチュラルキラー細胞)とは体内を常にパトロールし、癌細胞やウイルス感染細胞を見つけて攻撃する役割を担っています。つまり笑うことによって免疫力がアップするのです。みなさんも笑顔で免疫力を高めて健康的な生活を送りましょう。

地域活動委員会 山下



上尾中央医科グループ

医療法人社協友会 東川口病院

内科・神経内科・消化器内科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・小児科
皮膚科・耳鼻咽喉科・循環器科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科

携帯サイト・QRコードから簡単アクセス!
当院Facebookもあります! 是非ご利用ください。

〒333-0801
埼玉県川口市東川口2-10-8
TEL:048-295-1000
FAX:048-295-5501
<http://www.e-kawaguchi-hp.jp>



※東川口病院へのアクセス方法※

- ・JR武蔵野線東川口駅下車 徒歩5分
- ・埼玉高速鉄道(南北線直通)東川口駅下車 徒歩5分

